

### 行事ご案内

- ◎1月13日(土) 成道会(じょうどうえ) 釈尊がお悟りを開かれたことに因み、塔婆供養と法話の会をします
- ◎1月15日(月) 懺法会(せんぼうえ) 観音菩薩の導きによる懺悔と安泰祈願
- ◎1月17日 初観音講
- ◎2月11日(祝日) 新福寺大般若
- ※前後本厄年の方はお参り下さい
- ◎2月15日 涅槃会(ねはんえ) お釈迦さまの命日 **寺宝大涅槃図展覧**
- ◎3月14日(水) 春季巡教(しゅんきじゅんきょう) 本山布教師の法話と塔婆供養

### ☆書院にて小豆粥接待

- ◎春 托鉢 三川鉢 神戸祥福寺の雲水さんが托鉢をされます
- ◎5月5日 降誕会(こうたんえ) 釈尊の誕生日 **☆山門にて甘茶接待**
- ◎5月16日(水) ご詠歌 発展拡充大会
- ◎6月下旬 新亡供養(しんもつくよう) 於 妙心寺 該当の方には4月頃にご案内致します
- ◎夏休み (こども坐禅会) お盆のお参り
- ◎8月1日~14日 山門大施餓鬼(さんもんたいせがき) **☆書院にて抹茶菓子接待**
- ◎12月31日23時半~1時 除夜の鐘 **☆精進齋接待**
- ◎毎月17日 観音講

- ◎御講当番 **辻・南・東1**
- ◎第2第4水曜日 ご詠歌練習日
- ◎お寺で婚活 吉縁会の詳細日程は吉縁会ホームページをご覧ください。

### 修理箇所報告

納骨堂マツト新調。井戸清掃等。晋山式にあたり、襖や畳を更新、樹木の整備をさせて頂きました。詳細は決算報告をお待ちください。

### あとがき

冷えた風の顔に当たるを感じ、ふと時節の早さを思いました。膝や腰が少し痛むくらいで、おかげさまで元気に過ごさせて頂いております筆者は、有難いこと、今年で38才になります。剃髪しているのだからかもしれませんが、鏡を見ると似合わぬ白髪が生えていました。心はまだ白髪に追いついていないというのに、気恥ずかしい、これではいけない!

# 長勝寺報

第9号  
平成30年  
新春

長勝寺  
ホームページ



発行所

〒八七〇一〇一四二一  
大分市三川下二丁目六番二三号  
☎〇九七五五八一四二八七  
臨濟宗妙心寺派 長勝寺  
E-mail zokizan@iyosyoji-oi.com

### 住職挨拶

おかげさまで、昨年11月12日に晋山式を行うことができました。檀信徒の皆様には、晋山式、及び晋山式記念事業に対し過分のご寄進を頂き、大変有難く存じます。正式に住職となって初めての新年を迎えました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、大竹文雄大阪大教授らの研究によると、子供時代に神社、寺、道に祀られた地藏尊などが多い地区に育った人ほど、人との信頼や結びつきが高く、ひいては健康や幸福度が高くなることが判明したそうです。小さな頃からの信仰心は人生を楽しく豊かにするという事でしょう。無論、元より幸福を独り占めにするようとする不徳の輩には返って逆効果である事は言うまでもありませんが「積善の家に余慶あり」とはこの事でしょうか。皆さまに仏天の加護あらん事と共に、真の幸福を願ひ、年頭のご挨拶とさせて頂きます。

### 祐山和尚一周忌

昨年2月28日、祐山和尚の小祥忌(一周忌)を、姫路龍門寺の又玄窟老大師を導師にお迎えして厳修いたしました。もう1年、早いものです。お膳はすべて和尚さん方による手作りの精進膳です。丁度季節の変わり目で食材選びに苦労しましたが、苦労しただけ良い供養になりました。今では珍しくなった手作りの法事。祐山和尚、喜んでくれているでしょうか。



湯葉巻、人参、蕪、擬製豆腐、菘菜、東寺湯葉、干瓢えんどう、胡麻味噌和え、菜花和え、叩き牛蒡、白州和え、関山麩、胡麻豆腐、湯葉フライ、蓬麩蓮根饅頭蒸し物、粕汁、白的、富貴味噌、沢庵、笹巻麩、こげ湯



つてみると、私達の  
煩惱にたどりつき  
ます。煩いや悩みに  
まみれた日々を内  
省し、水を掛けてお  
参り下さい。

**観音堂ついに完成**  
晋山式記念事業として取り組んだ観音堂改築。衛藤建築さんの手によって、解体から3年の年月を掛け、ついに完成しました。  
お身拭いも終わり、見違えるほど美しくなられた観音様、重厚な木材の安らぐ香りに包まれます。理屈抜きに癒される観音堂。いつでも自由に戸を開けてお参り下さい。荘厳な堂内に心打たれることと思います。尚、建築の記録はホームページで公開しておりますのでそちらも是非ご覧ください。  
又、観音堂の右横に新たに茨城県真壁町から取り寄せた「水掛不動尊」を安置しました。何故水を掛けるのでしょうか？お不動様は後ろに火を抱えてらっしゃいますのでたいそう熱いのです。その火の元をよくよくたど

**お講が変わりました**  
様々な行事に合わせて、お参りの方にお講（食事）を出す風習がありました。1月、8月のメニューを思い切つて大幅に変更しました。1月は無病息災の小豆粥、8月は暑気払いの珍しいお菓子と抹茶です。詳しくは4ページの行事案内をご覧ください。どなたもご参加できます。  
**◎納骨堂が土足可となります**  
現在、スリッパに履き替えて頂いております納骨堂ですが、今年より土足可となります。お子様や、スリッパに履き替えることが困難な方にもお参りしやすくなりました。靴の泥をよく落としてお入り下さい。  
**シリーズ 長勝寺の至宝**  
—玄関横の壺— 長勝寺の玄関横に薄汚れた壺のあることをご存知でしょうか。少なくとも50年以上前から長勝寺の玄関に置かれていたようですが、実はこの壺、骨董の世界では有名な「古備前」なんです。亀裂が入っているため針金で口を止めています。が、堂々としたたたずまいは力強さを感じます。

### 第22世 玄祐和尚晋山式特集

11月12日、晴天に恵まれて晋山式が挙行されました。最初に稚児行列が行われ、和尚さんや実行委員さんを先頭に80名のお稚児さんが長勝寺に向けて出発しました。到着後、お清めの香水と、三宝印という有難い印を額に押し頂きます。新命和尚は山門で、住職の心構えを問う儀式を経て、新観音堂の落慶式を執り行いました。



いよいよ晋山式です。一步、また一步と本堂に進み、古来伝統の様式に従って、心境を漢詩に認めて発表し、お釈迦様や、歴代の住職、寺の鎮守様にご挨拶の香を焚いて、深々と五体投地の礼拝をします。



一旦退席の後、着けていた伝法の袈裟を改めて再出頭し、頂いた浄財に対し御礼の礼拝を致します。



その後、九州東教区宗務所長、福正寺様より住職辞令の交付を受け、名実共に新住職に就任いたしました。

新住職が修行した神戸祥福寺僧堂の師家であられた、河野太通老大師よりご垂訓を頂戴しました。「人生を意義あらしめるには勇気、希望、少しの蓄えがあれば良い」というチャップリンの言葉を引き、更に付け加えて「善き友を持つこと」を強調されました。続いて総茶礼と言って、和合の意を込めて一つの釜で沸かしたお茶を皆で一斉に頂き、結びに総代寺司博光様より謝辞を頂いて晋山式を無事に円成いたしました。

